



環境美化ボランティア「毎年ありがとうございます」



6月7日（土）、日赤奉仕団上小阿仁分区の皆様が、杉風荘周囲の環境整備を行っていただきました。

4年目となる環境美化ボランティア。今年は過去最多40名の方々にご参加いただき、まずは除草作業からスタートです。雨の影響もあり雑草が伸びていましたが、皆さん慣れた手つきで、あっという間に除草していただきました。除草後の花壇には植栽もしていただき、マリーゴールドとペゴニアの花が玄関前をきれいに飾ってくれています。

ボランティアの皆様、ご協力いただきありがとうございました。

6月11日(水)に理事会、6月27日(金)に評議員会を開催し、令和6年度の事業報告(案)及び収支決算(案)についてご審議いただき、両案とも原案どおりご承認いただきました。

令和6年度 上小阿仁村社会福祉協議会 事業報告

●一年を振り返って

令和6年度は、スタートの4月以降8月にかけて、特別養護老人ホーム杉風荘において退所される方や入院される方が例年の2倍程度にのぼり、経営的にも職員のモチベーション的にも苦しい立ち上がりとなりましたが、各部門の職員がそれぞれ気持ちを切らすことなく懸命に努力を重ねた結果、9月以降は例年以上の利用率を確保できました。一方、訪問介護・通所介護においては利用者の減少が顕著で、年間を通じて苦しい事業展開となりました。こうしたことから、介護保険事業の実績は大きく落ち込んだところであり、不可抗力的な側面もあるとはいえ、昨年度の社協全体の事業における反省点と捉えております。

7月には3年連続の大雨災害が村を襲い、大きな被害がもたらされました。社協では村の要請を受けて災害ボランティアセンターを開設し、村内及び近隣地域住民の方々のご協力のもと、被災住居等の清掃・片付け等を迅速に実施することができました。今後も自然災害は多発するものと想定されます。災害時の支援に関する体制整備を継続して行く必要があるものと考えております。

また、コロナ禍や自然災害以外にも、普段の生活の中で様々な生きづらさ、暮らしづらさを抱える人、また、望まない孤独・孤立の状態にある人等に関する相談案件も増加している状況にあります。そうした状況下における令和6年度事業の実施状況等についてご報告します。

1. 地域福祉の推進

- (1) 地域福祉を支えるネットワーク活動の推進
地域包括支援センターや民生・児童委員、近隣住民、福祉・医療関係機関との連携や情報の共有化等を図りながら、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等への日常の見守りや援助活動の推進に努めました。

また、「村の御用聞きプロジェクト」を継続し、その御用解消のための活動も推進しました。

- (2) 村民ふれあい事業の実施

毎週水曜日に福祉センターを村民に開放するとともに、月イチメニューを提供して村民の事業への参加促進を図りました。(第1水曜日：ふれあい食堂、第2水曜日：入浴サービス、第3水曜日：買い物支援ツアー)

- (3) ふれあい福祉まつりの開催

12月4日(水)に第2回目の福祉まつりを開催しました。

- (4) 受託事業の実施

- ①生活支援ハウスの運営を行いました。
- ②外出支援サービスを実施しました。延べ49名の方にご利用いただきましたが、前年度より大幅な利用減となりました。
- ③こあに号を運行しました。延べ48名の方にご利用いただきましたが、前年度より半減しました。
- ④見守り配食サービスとして、週2回、夕食のお弁当を提供させていただきました。前年度より442食少ない1,593食となりました。

2. 介護保険事業の運営強化

- (1) 居宅介護支援事業(ケアプラン)利用実績
前年度比+1.0%、月平均92件の取扱件数となりました。
- (2) 訪問介護事業(ヘルパー)利用実績
前年度比△13.6%、日平均利用者数は7.7人で前年度より1日当たり△1.2人となりました。
- (3) 通所介護事業(デイサービス)利用実績
前年度比△5.9%、日平均利用者数は11.9人で前年度より1日当たり△1.4人となりました。
- (4) 杉風荘利用実績
年間の利用率は、入所では92.2%で目標利用率から△5.8%でした。短期入所では、前年度比+10.2%の81.1%でした。
村民の方の全体に占めるご利用割合は、66.3%で3年連続で6割をキープしました。

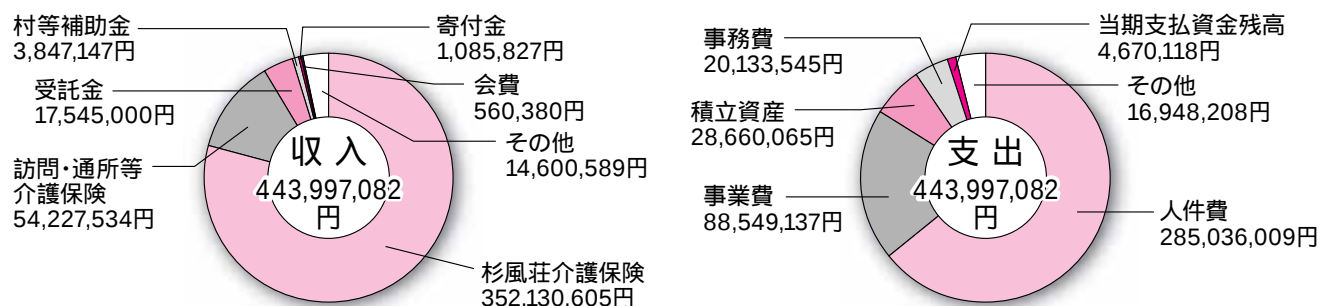
3. 援護活動の推進

- (1) 村や民生委員との連携のもと、灯油と食料の支援を行いました。※灯油108L(18Lポリタンク約6缶)、パックご飯・レトルトカレー・ラーメン・缶詰等のセット6回
- (2) 生活福祉資金・たすけあい資金は利用がありませんでしたが、たすけあい資金の償還が14万円ありました。
- (3) 募金運動は皆様のご協力により良好な結果となりました。
歳末たすけあい募金については、令和3年度から行っている歳末たすけあい弁当の配布(92世帯)を継続したほか、令和5年度から開始した村内の福祉施設のご利用者全員(211人)に対する温かな靴下(2足)の贈呈を継続しました。

4. 福祉諸団体の活動支援

老人クラブ連合会、身体障害者更生協会、母子福祉会、青少年育成村民会議及び婦人会の活動を支援しました。

上小阿仁村社会福祉協議会 令和6年度 収支決算



新役員、新評議員が選任されました

任期は、令和7年6月27日から役員（理事・監事）は2年、評議員は4年です。よろしくお願いいたします。また、今回でご退任された役員及び評議員の皆様、これまでのご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。今後も、社協の良き理解者としてご指導・ご協力をお願いいたします。

〈理 事〉

会 長 小嶋 有逸 (沖田面)
 副会長 田中 安規 (小沢田)
 伊藤 明美 (沖田面)
 伊藤 茂樹 (上仏社)
 加賀谷久子 (福 館)
 門松 桂子 (羽 立)
 清水 俊一 (大 海)
 常 務 菅沼 和也 (小沢田)
 田村 秀幸 (下仏社)

〈監 事〉

武石 辰久 (長信田)
 武石 誠 (羽 立)

〈評議員〉

安藤 正弘 (友生園)
 石川 悦子 (沖田面)
 伊藤 悦子 (小沢田)
 伊藤 信義 (南 沢)
 加賀谷磯治 (沖田面)
 小林金四郎 (下五反沢)

小林 玲子 (小田瀬)
 齊藤 幹雄 (杉 花)
 齊藤みよ子 (福 館)
 鈴木 一義 (沖田面)
 中嶋 辰雄 (大 海)
 原田眞貴子 (沖田面)

杉風荘建替基本構想策定中です

昨年7月から基本構想を検討してきましたが、今月中にとりまとめが完了する予定です。

杉風荘は建設後47年が経過し、老朽化が進んでいます。今後の施設の生き残りを図るうえでは、ご利用者に快適な生活環境を提供すること、職員にとって働きやすい環境を整備することが重要であり、建替が必要不可欠な状況です。

上小阿仁村及び北秋田市の将来推計人口によると、今から25年後の2050年には地域の人口は半減しますが、介護及び特養に対するニーズは大きく減少することはないと想定されます。また、現在、村外の施設に大きく依存しているショートステイのニーズについても村内で対応できるようにしていく必要があるものと考えます。

杉風荘は、そうしたニーズに応えるためにも、本村の高齢者福祉を支える拠点としてなくしてはならない施設であるとの視点から基本構想を策定中です。

基本構想策定後、村民・村当局・村議会など広範な方々のご理解が得られるよう努め、村のご協力のもと、令和11年度の新施設開設を目指して計画を進めてまいります。

今後も随時、「社協だより」などを通じて計画の進捗状況等をご報告させていただきます。

上小阿仁小学校4年生の皆さんへ講話を行いました

毎年恒例の小学生への福祉教育を、5月21日(水)に行いました。

講話は座学式で、「福祉ってなんだろう」をテーマに進んでいきます。福祉そのものの意味や重要性を、児童の皆さんと一緒に考えながらお話をしました。時折、メモを取りながら真剣に聞き入る児童の皆さんの姿が印象的です。

体験の時間は、車椅子の試乗と災害用ヘルメット・簡易トイレの組み立てを行いました。実際に使うことで車椅子ユーザーや、避難時の生活をイメージできたようです。

また、『ふれあい広場』に来ていた村民に向けて、“よっちょれ”を披露していただきました。元気よく踊る姿に、観客から大きな拍手が送られました。



対面面会・窓越し面会を行っています

杉風荘では現在、予約制にて面会を実施しています。

窓越し面会のほか、人数・時間等の制限を設けながらではありますが、対面面会も行っています。たくさんのご家族様にお越しいただき、貴重な時間を過ごされています。



また、遠方のご家族様も面会していただけるように、オンライン面会も行っています。

これまで施設内の一部居室において通信環境が整っていませんでしたが、この度Wi-Fiの拡充整備を行い、すべての居室からオンラインでの面会が可能になりましたので、ぜひご利用ください。

引き続き感染対策を図りながらの面会となりますが、皆様が安心してお会い出来るよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年度 日赤会費集計結果

今年も皆様のご協力により日赤の会費が集まりました。このお金は国内外の災害救護活動や国際活動をはじめ、地域における赤十字事業など幅広い活動に使用されます。

ご協力ありがとうございました。

日赤会費総額

444,200円

協力件数

552件

集落名	件数	金額
長 信 田	11	7,700
羽 立	50	36,300
大 阿 瀬	14	12,000
堂 川	24	17,100
下 仏 社	19	16,900
上 仏 社	22	22,000
杉 花	16	16,000
小 沢 田	53	51,200
福 館	30	24,000
下五反沢	49	37,100
中五反沢	15	15,000

集落名	件数	金額
上五反沢	7	4,900
大 海	15	10,500
沖 田 面	142	104,100
水無団地	14	9,800
大 林	43	34,000
小 田 瀬	15	15,000
南 沢	10	7,600
中 茂	1	1,000
八 木 沢	2	2,000
合 計	552	444,200

御神輿が来てくれました

6月15日（日）、友倉神社例祭が開催され、杉風荘に神輿がやってきました。

大ホールで待っていると、遠くの方から笛の音と賑やかな掛け声が聞こえてきます。「来た！来た！」と皆さん辺りをキョロキョロされていると神輿がやってきました。わっしょいわっしょいと盛大な掛け声に入居者様も手を叩いてお出迎え。滅多に見ることの出来ない神輿に大興奮でした。関係者の皆様、ありがとうございました。



お仕事博覧会に参加しました

7月1日（火）に『出会い発見！大館・北秋田ふるさとお仕事博覧会』に参加しました。

このイベントは地元企業などの魅力や働くことの大切さを中学生へ伝えるため、北秋田地域振興局が実施しているものです。

当日は社協のブースへ、北秋田地区の中学生およそ20名が訪問。社協の取り組みや働き方などの紹介に、熱心に耳を傾けてもらいました。

地元で働くことに興味・関心を持つきっかけになったことを願っています。



善意の窓

令和七年四月一日から、
令和七年六月三十日まで
寄せられた善意をご紹介します。
(敬称略)

○寄付金・香典返し

小沢田	田中 紀人
下五反沢	小林 武直
沖田面	高橋 征史
下仏社	田村 秀幸
下五反沢	北林 義人
長信田	武石 博昭
福田館	北林 勇子
沖田面	山田 直子
沖田面	原田 義行
大田林	三宅智佳子
沖田面	石上 正行
羽田立	原田 吉智
小沢田	田中 安規
沖田面	山田 祥子
小沢田	伊藤 勝義
沖田面	木村 恵

皆様からの善意は、地域
福祉活動に有効に使わせて
いただきます。
ありがとうございます。

社協会費のお願い

上小阿仁村社協では、村内の
全世帯・全住民が会員との認識
のもと「人と人がふれあい、支
え合い共に生きる地域づくり」
のために努力しております。
この社協の大切な財源の一つ
が皆様から寄せられる会費や寄
付金です。社協では、全戸会員
と会費を納入いただけてきまし

た。
社協の予算全体の中で会費の
占める割合は決して高くはあり
ませんが、会員意識の高揚と自
主財源の確保という面では非常
に大きな意味を持っています。
今年度も各集落役員の皆さん
のご協力を得て、会費納入のお
願いをさせていただきます。趣
旨をご理解いただき、
ご協力くださいます
よう、よろしくお願
いいたします。



賛助会員
1500円

一般会員
800円

いごども食堂 開催のお知らせ

学校の長期休暇に合わせて
実施している『いごども食堂』
を今年も開催します。昼食を
無料提供しますので、お誘い
あわせのうえお越しください。

日程…令和七年八月六日(水)
午前11時30分～
場所…福祉センター



▲昨年の「いごども食堂」の様子

・小中学生の皆さんには、学校を通じて
改めてご案内を差し上げます。
・当日のメニューは、カレーライスとサ
ラダですが、アレルギー対応は行っ
ていませんので、予めご了承ください。
・もちろん大人も大歓迎です！

賑わい創出用の機器を貸し出します

かき氷機、綿菓子機、ポップコーンマシーンを集落の行事等の際に貸し出しします。貸出を希望される場合は、申請書に行事等の案内・チラシ等を添えて申し込んでください。(申請書は福祉センターに用意しています)

また、土・日の行事の場合はカラオケも貸し出しします。なお、個人にはお貸しできませんのでご了承ください。

